



広島市立安佐市民病院広報紙

—第40号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目 1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

ご挨拶

「たくさんさんの笑顔と
ありがとございました」



薬剤部主任部長
長崎 信浩

【ふるやうは遠い北国】

明けましておめでとございます。
薬剤部主任部長を拝命しております。
す長崎信浩と申します。早いもので
安佐市民病院に赴任して12年が過ぎ
ようとしており、3月で定年退職を
迎えます。

昭和53年9月、生まれ育った北海
道を離れ、縁あって広島に赴任
してまいりました。着任したのは社
会保険広島市市民病院（現在の広島市
立広島市市民病院）です。ふるさと北
海道は既に朝晩は冷え込んでスト
ーブを焚く季節でした。

【服薬指導業務への取り組み】

広島市市民病院では朝から晩まで調
剤業務一辺倒でした。病院に勤務し
ながら患者さんの顔も見えず、自分
の作った薬が効いているのかどうか、
副作用は出ていないか、はたしてき
ちんと飲んでいただいているかどう
か、悶々とした毎日でした。

数年後、30歳を超えた頃のこと
です。米国では患者指向の薬剤業務と
して服薬指導や薬効（副作用も含
め）のモニタリング業務が展開され
ていることを知りました。そこで全
国の仲間と情報交換をはかりながら
患者さんのベッドサイドでの服薬指
導、服薬相談、薬剤力ウンセリング
に取り組み始めました。このような
業務は中国四国地区においても先駆
的で、当時は院内の薬剤部からも理
解が得られませんでした。夕方5時



の就業時刻終了後から病棟に出向き、
カルテをチェックしながら医師看護
師に患者さんの状況を確認し、服薬
指導に取り組みことにしました。六
人部屋では患者さんたちが私を取り
囲んで、同室者の飲んでる薬の説
明に聞き入って自分の薬と比べたり、
次は私の薬も教えてと順番になつた
り、その当時はプライバシーの保護
もなにもありませんでした。副作用
や相互作用（薬の飲み合わせ）の早
期発見と対応、他の適切な処方への
変更の提案などは患者さんのみなら
ず医師や看護師さんたちからも歓迎
されました。

【臨床薬剤業務の展開】

あれから約30年、今では病棟での
臨床薬剤業務の展開が病院薬剤師の
主な業務となり、患者さんお一人お
ひとりに安全で有効、適切な薬物療
法を提供し、様々な医療チームの一
員として臨床薬剤師の責務は益々増
大しています。安佐市市民病院の薬剤
師は皆優秀です。お薬に関して困っ
たことがあれば是非薬剤師にお尋ね
ください。

【笑顔の増幅効果】

安佐市市民病院への赴任後、地域の
皆さまには大変お世話になり、多く
の支えをいただきながら医療のある
べき姿を勉強させて頂くことができました。
そしてベッドサイドでの患
者さんの笑顔が一番のご褒美でした。
患者さんそして地域の皆さんのたく
さんの笑顔と私たち病院職員の笑顔
が互いに増幅しあえば益々よい医療
が提供できるものと思っております。

末筆になりましたが、地域の皆さ
まのご健勝とご多幸をお祈り申し上
げながら静かに定年退職
のその時を迎えたいと思
います。ありがとござ
いました。



【病院機能評価】

安佐市民病院の理念と基本方針

理 念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。



第10回

健康祭り

10月12日、今年も地域の皆様のご協力を得ながら健康祭りを開催しました。笑顔がいっぱいはじけて、楽しい一日になりました。医療器具操作の体験もでき、今一度健康について見直すことができました。



オープニングは可部高校吹奏楽部OB・OGの皆さん



あなたのお口はキレイ？



いつも飲んでる薬、本当に効くの？



カラスの会制作「秋の風情」



そうよ、私もお世話になったのよ



ノロウィルスの季節です、手洗いはきちんとできてる？



フットケア、足下を清潔に



へ～え、がん細胞ってこんなになってるんだ



まずは血糖を回りましょ、次はあちらです



よろず健康相談で日頃の悩みを解決



わたし、将来は絶対に看護師さん



患者会に入って悩みを語り合いましょうよ



健康チェック、血圧は大丈夫



健康の源は正しいウォーキングから



健康を祈念して一言メッセージ



骨粗鬆症が気になるのよね



今年も女性会のお世話になりました



私も将来はブラックジャックよ



心肺蘇生AEDをマスター



赤ちゃんクイズに挑戦、正解は…？



摂取カロリー、ちょうど良いですよ



田島のおじちゃんとおもちゃの手作りです



脳卒中後の食事の介助はこうにして…



命の貯蓄体操、丹田に力を入れて…



利き手でない方の手を使って箸が旨く使える？



乳腺外科のご紹介



乳腺外科部長
船越 真人

はじめまして、乳腺外科の船越です。乳腺外科の診療について紹介させていただきます。

当院の乳腺外科は広島ではとても歴史があり、久松先生が長きにわたり乳腺外科の診療を牽引して来られました。当科では乳癌を中心に乳腺疾患の診断、治療を行っています。乳癌治療は、手術療法・薬物療法・放射線療法といった複数の治療法を適宜組み合わせて行う治療が基本であり、それにより飛躍的に治療成績が向上します。当院でも外来化学療法センター、腫瘍内科、放射線診断科、放射線治療科、病理部と協力しながら治療しています。

手術は乳房切除と乳房温存手術を基本に乳房切除が必要な方には形成外科の協力で乳房再建も行っています。乳癌は進行すると脇の下のリンパ節（腋窩リンパ節）に転移し、最初に転移をきたすリンパ節のことをセンチネルリンパ節（見張りリンパ節）といいます。当院では、術前にRI（ラジオアイソトープ）でセンチネルリンパ節を確認後、手術中に色素、RI併用法でセンチネルリンパ節を摘出し、迅速病理診断で転移の有無を診断します。転移のある場合にだけリンパの切除を行っており、不要なリンパの切除を省略することで手術後の腕や手のむくみ、しびれ感や痛みなどの後遺症を防ぐことができます。

薬物療法も進化の早い分野です。乳癌初期治療では、腋窩リンパ節転移の有無と個数、腫瘍径などの「解剖学的拡がり」からリスクを評価するのが20世紀までの基本でした。ところが最近では、癌の組織を検査して薬の感受性を調べて薬剤を選択するようになってきました。さらに不必要な抗癌剤を避けるため、21個の遺伝子を検索して抗癌剤を投与するかどうかを決めることが海外では常識になりつつあります。

このように、乳癌の治療の進歩は速く、大きな学会で決まったことが直ちに導入され、標準治療が毎年変わっていきます。多くの新しい薬も出てきます。当科も常に世界標準の乳癌治療が患者さんに提供できるよう常にアップデートしていく所存です。

がん性疼痛看護認定看護師

2013年7月にがん性疼痛看護認定看護師の資格を取得しました。

現在内科病棟に勤務しております。

日本でのがん罹患率、死亡率が高いことは知られていますが、反面で、医療の進歩によって生存率は延びてきており、治療しながら生活している人は増えています。がんと診断された患者さんの多くは様々な痛みを抱えています。病気と共に生きていくためには痛みなく日常生活を過ごすことが重要です。「痛みがあることで治療に耐えられない。毎日の生活のなかで当たり前になっていたことができなくて辛い…。」

痛みは身体や心に大きな苦痛をもたらします。これらを和らげ、うまく付き合って生活できるよう、病棟の現場で看護をしています。

また、がんによる痛みで苦しんでいるのは患者さんだけではありません。患者さんを支えている家族やそばにいる看護師も苦しんでいます。院内の緩和ケアチームの一員として医師・薬剤師・社会福祉士・心理療法士など他のスタッフと協力しながら相談をうけ、痛みや痛み以外の苦痛の緩和に取り組んでいます。

研修や情報発信などを通して院内全体の知識・技術の向上も目指します。

入院治療を繰り返される患者さんや外来通院し自宅で生活しながら治療を受ける患者さんが増えているなか、今後は病棟と外来の連携を強化していくことが課題の一つであると感じています。

切れ目のない看護によって病気と向き合う方々に安心・信頼ある支援ができるよう取り組んでまいります。

よろしくお願い致します。



北6病棟看護師
升田 志保



救急救護

訓練に参加しました!



災害対策チーム（庶務係）志田原 昌哉

去る9月12日、「第19回安佐医師会救急救護訓練」が実施され、当院からも多くの職員が参加しました。この訓練は阪神淡路大震災の発生を契機に始まったもので、安佐医師会を中心に消防・警察などと合同で毎年開催されています。当院からは、医師・看護師・DMAT（災害派遣医療チーム：大規模災害等の現場で急性期に活動できる専門的な訓練を受けた医療チーム）の計15名が参加しました。

訓練は、高速道路での多重衝突事故により多数の傷病者が発生するという内容を想定したもので、実際にドクターヘリ・消防車・救急車などが活動し、医療救護班・救急隊が患者を容態別に選り分けて精力的に治療するというように、非常に緊迫感あるものとなりました。終了後には参加者から「日頃からの訓練の大切さを感じた」という意見が多く聞かれました。

今後も多数傷病者の受け入れなどの災害医療について病院で検討していきたいと思えます。



施設紹介

脳神経センターの開設



2013年10月から、脳神経外科外来が北館2階に移転し、脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科が一カ所にまとまり脳神経センターとなりました。脳卒中をはじめ、脳の病気を集約的に治療するのが目的です。11月からは、救急医療の体制も充実させ、時間外、休日でも脳神経外科医が2名、神経内科医が1名常時待機するよう分厚い待機体制としました。当直医にも協力してもらい、脳神経救急疾患が疑われる患者さんを24時間365日受け入れ、全ての方を治療していく方針としました。

脳卒中は、突然発症し重篤な後遺症を残す危険性のある病気です。脳の主要な血管が閉塞すると、1分間で190万個の神経細胞が死滅し、1時間で3.6年老化します。したがって、脳卒中は最も治療を急ぐ必要のある病気であり、可能な限り最寄りの病院で治療を受ける必要があります。当院は、閉塞した血管の血栓を溶かし再開通させる薬（アルテプラゼ）を使用可能な病院です。2012年10月からは、ガイドラインが改訂され、発症から治療までの時間制限が3時間から4.5時間に延長されました。顔の非対称、片側の手足の動かしにくさ、言葉のしゃべりにくさ、がひとつでもあれば脳卒中の可能性があるので、直ちに当センターを受診して頂くようお願いいたします。



骨盤体操教室のお知らせ

当院では妊娠中を出来るだけ快適に過ごし、安産に経過して頂けるよう、骨盤体操教室を開催しています。是非、助産師と一緒に快適なマタニティーライフを過ごしてみませんか？



<骨盤体操教室参加者の声>

- 気持ち良かった。
- 知らない事が多く、とても勉強になった。
- さらしの巻き方や体操が実際にやってみて参考になった。
- 空き時間に、無理なく簡単に出来そうで、やってみたいと思った。



※他開催の母親学級(無料)について

課程	開催日	内容	受講期間	講師	場所	時間
妊 娠 前半期	第1(水)	栄養 日常生活 歯の衛生	妊娠 5ヶ月迄	栄養士 助産師 歯科衛生士	南館3階 講 堂	13:30 ～ 15:30
妊 娠 後半期	第3(水)	分娩の準備 入院時期 分娩経過と 過ごし方	妊娠 6～9ヶ月	助産師		

申し込みは産婦人科外来受付前の予約簿に記入して下さい。
尚、ご不明な点は産婦人科外来もしくは北3病棟にお尋ねください。
皆様のご参加をお待ちしています。

骨盤体操教室のお知らせ

骨盤体操教室を開催しています

妊娠中を快適に過ごすためにも、安産のためにも骨盤を整えて、バランスの良い身体でいることが大切です。骨盤体操教室とは、妊娠に伴うご自身の身体の変化について知り骨盤を整える方法について学んで頂く教室です。

- 毎月 第2・4木曜日 13:30～15:30
- 場所：安佐市民病院WAPセンター
- 対象：当院で分娩予定の妊娠 14 週以降で正常経過をたどっている方
- 定員：1 回6名まで（定員には限りがあります）

ご希望される方は、産婦人科外来受付の予約ノートにご記入ください

持参物：母子手帳、バスタオル・フェイスタオル（各1枚ずつ）
水分補給、1/4 反らし（売店にもあります）
服 装：動きやすい服装（ジャージなど）
※更衣室、ロッカーがあります

注 意：託児室はありませんので、お子様連れはご遠慮ください

安佐市民病院 北3病棟 産婦人科



〇〇先生にかかっていますが、毎回待ち時間が長く予約の意味がありません。1時間くらいならまだしも、いつも2、3時間待ちです。予約数を減らすなど、何か対策を早急にとっていただきたいと思います。ひどすぎます。

『ご意見に対する回答』

「皆様の声」に貴重なご意見ありがとうございました。予約診療にもかかわらず、長時間お待たせし大変申し訳ありませんでした。

医師は、一定時間に診察する人数を決めて診察を行っております。しかしながら、検査結果の説明に時間がかかること、患者様の病態により診察に時間を要することから、時には予約時間をすぎてお待ち頂くという状況が続き、申し訳なく思っております。極力時間短縮を図り待ち時間を少しでも短くするよう努力致します。なお、予約人数を減らすことは、次回受診までに間隔があくことになり、患者さまに適切な医療を提供できなくなることから、困難な状況です。

予約診療の遅れが生じた場合、口頭および掲示にてご説明するなど現状をお知らせしておりますが、皆様のご理解ご協力を頂きますよう宜しくお願い致します。

今後ともお気づきの点がありましたら、職員に遠慮なく声をかけて頂きますようお願い致します。

がん患者サロン すずらん

2013年度 下半期予定表

日程	テーマ	講師
1月16日	「頭頸部がん」について	頭頸部外科・耳鼻咽喉科部長 石井 医師
2月20日	おしゃべり会 「お薬」について	がん指導薬剤師 薬剤師部長 柳田 祐子
3月20日	「泌尿器科のがん」について	泌尿器科 小島 医師

★講師は都合により変更となる場合があります。
 ★場所は南館1階 **患者サロン** で 午後2時～3時 開催予定ですが、会場が変更となる場合もあるため、その都度ご確認ください。
 ★予約が必要な場合もございます。
 ★対象は、当院のがん患者さんとそのご家族の方です。

お問い合わせ先：広島市立安佐市民病院 医療支援センター
 がん相談支援室 ・(082)815-5211（内線 2289）

院内感染対策室からのお願い

寒い日が続きます。この時期にはインフルエンザや嘔吐下痢症などの感染症が流行します。入院患者さんは免疫力も弱く、院内にこれらの感染症が蔓延すると大変です。

発熱や咳のある方、一週間以内に下痢や嘔吐の症状がみられた方は他の人に伝染することもありますので、入院患者さんへの面会やお見舞いはご遠慮くださいますようお願いいたします。

面会制限のお願い



発熱、せきなど
かぜ症状のある方



1週間以内に
おう吐、下痢のある方

面会をご遠慮ください

- ・入院患者さんは、感染を受けやすい状態です
- ・感染すると重篤となる場合があります

ご協力、ご理解をお願い致します

2013年12月
広島市立安佐市民病院
感染対策委員会

広島市立安佐市民病院
院内感染対策室

クリスマスコンサート

12月17日、南7階病棟でクリスマスコンサートがおこなわれました。演奏は『真鍋アンサンブル』（医師、看護師など病院スタッフの混成チーム）です。今年で3年目になり、演奏も少しずつ上達しています。

他の病棟の患者さんたちも参加し、ホンワカと暖かくて楽しいひとときとなりました。

